

ひやく しゃく かん とう 百尺竿頭

札幌市青少年山の家便り
第 20 号
平成 24 年 3 月 1 日 発行

札幌市青少年山の家
館長 齊藤 隆仁

～今年度をふりかえり～

日頃より札幌市青少年山の家をご利用いただき誠にありがとうございます。

平成 23 年度は利用団体の皆様や関係各所の皆様に支えられ、無事に 1 年が過ぎようとしております。この場をお借りして深くお礼申し上げます。

子どもたちにとっての自然体験活動では、今までに直面したことのない困難や体験をすることができます。その困難や体験を自分の力であるいは仲間とともに乗り越えた時に大きな変貌を遂げ、たくましくなっていく姿が見受けられます。それはわくわく感やドキドキ感から達成感につながり、仲間を思う気持ちの大切さに気づき、そして自信とともに自我の形成へと結びついていきます。



青少年山の家では入館式の時に職員から必ずお伝えすることのひとつに、「来た時よりもきれいに」と皆様にお伝えしております。平成元年にオープンして 23 年間経過した現在でも、館内がきれいに保たれている所以でもあります。代々続いている「掃除のリレー」は単に自分たちの使ったところをきれいにするというだけでなく、次に使う人が気持ちよく利用できるよという気持ちや、心の中で「ありがとう」の気持ちを持ってもらいたいからなのです。

札幌市青少年山の家での活動が、学校教育での野外学習や各種団体の皆様の野外活動の一助となりますように、今後も札幌の四季折々を楽しめる滝野の豊かで素晴らしい自然環境を活かし、札幌市の野外教育施設としての役割を認識し、職員一同お客様のニーズにお応えできるよう質の高いプログラム提供を行ってまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。



2月事業のご報告

■第4回自然観察ハイキング★2月19日(日)

「滝野の冬をスノーシューで歩こう」をテーマに実施。
春を待つ木々や動物の足跡などを観察しながら冬の森を楽しみました。



■第4回なかよしキャンプ(幼保小連携事業)★2月25日(土)～26日(日)

通年実施し今回で最終回。初のお泊り会でしたが、今回も5年生と幼児が様々な活動体験の中で、個々の役割の中で共に楽しむ微笑ましいキャンプとなりました。



[2月の利用者アンケートより]

- 子どもたちに対し、良い部分は褒めてくれ、気を付けてほしいところはしっかりとっていただいたのでありがたかった。
- 利用者に対する対応が協力的ですばらしい。
- 室内キャンプファイヤーなど職員の方に補助していただき大変助かりました。
- ▲最終日の荷物移動が他校と重複していた。
⇒ 当日の打ち合わせで確認を徹底し改善を図ります。
- ▲食堂のキッズメニューについている、ジュースが未就学児には多かった。
⇒ 新年度に向けて、食事メニューの見直しを行っております。いただいたご意見を参考にさせていただきます。

【自然の豆知識：雪の雑学】

●雪はなぜ白い？

→雪も氷も融けたら水になりますが、なぜ雪は白いのか。

白色の色素が入っている・・・訳ではありません。

雪を白くしているのは雪の結晶に含む“空気”だそう。この結晶中の空気が光を乱反射して、白く見えるそうです。気泡の多い氷やカキ氷が白っぽく見えるのも同じ原理なんですね。

●雪は何からできている？

→雪は氷からできています。氷は水が固まったものなので雪は水だと言えます。雪は寒い空の雲の中で小さな氷の粒としてでき、空気中の水蒸気がこれに付いて温度や水蒸気の量など様々な条件で変化して雪の結晶となります。

「雪は天からの手紙である」 ～北大低温科学研究所 中谷宇吉郎博士の言葉



発行者：札幌市青少年山の家指定管理者 財)札幌市青少年女性活動協会

住所 〒005-0862 札幌市南区滝野247番地

電話 011-591-0303 FAX 011-591-0394

URL <http://www.sapporo-yamanoie.jp>